

ティーチング・ステートメント

商学科

佐藤 義文

提出日 2020年9月24日

【責任】

商学科の専門選択科目である租税法を中心に教育、研究活動を行っている。
主たる教育活動は、専門科目である租税法、初級簿記、ゼミであり、会計科目の取り纏め役、課外活動である税理士講座（財務諸表論、簿記論）及び日商簿記講座（3級～1級）のコーディネーター、学内規則・規程等審査検討委員会委員、会計学研究会の顧問（部長）である。

【理念】

まず第1に、学問の楽しさを租税法の授業を通じて身に付けてほしいということである。つまり、学問の楽しさを租税法という具体的な科目を通じて知ることであり、さらに、租税法の原理・原則を通じて「ものの見方」、「ものの考え方」を身につけることである。学部学生としての専門知識を修得するだけでなく、学問そのものも楽しさを学生自身にも身に付けてほしい。

第2に、個性豊かな人間として成長してほしいということである。つまり、他人に影響されず、自分の個性を伸ばしてほしいということである。

第3に、後悔しない人生を歩んでほしいということである。つまり、自分の歩んできた過去を後悔せず前向きに人生を歩んでほしいということである。

以上が私の理念とする三本柱である。もちろん、学部学生としての必要最低限の専門的知識を修得することが学部教育の基本ではあるが、専門的知識の修得のみならず、人生の目的と手段についても理解を深めてもらいたい。また、大学は専門的な知識を修得させ社会に有用な人材を輩出すると同時に「ものの見方」、「ものの考え方」を修得させ、さらには、人格形成に寄与することである。であるとするならば、大学で学ぶことは、目的ではなく、人生を生きていく手段でしかないことになる。換言すれば、後悔しない人生を歩むということが究極的な目的であり、人生を歩むために必要な財貨を得るために就職（勤労）することが手段であることを理解してほしい。

【方針・方法】

上述の理念である①学問の楽しさを知る、②自分の個性を伸ばす、③後悔しない人生を歩む、を実現するために以下の方針・方法で活動している。

①学問の楽しさを知る

- ・自分自身が楽しく授業を行わなければ、学生は楽しく学ぶことができないという考えに基づいて、常に楽しく授業を行っている。
- ・専門的知識と教養をしっかりと身につけさせるため、専門科目だけでなく、幅広く一般教養科目についても履修させるよう指導している。
- ・専門的知識については、理論と実務（実践）の結びつきを理解させるために、授業では個別に具体的例示を行っている。
- ・租税法の原理・原則を通じてものの見方、ものの考え方を身につけさせるために、適宜課題を与え特定のテーマについて学生自身の考え方を発言又は文章化して提出させている。

②自分の長所を伸ばす（個性豊かな人間）

- ・顔写真入りの受講者名簿を独自に作成し、学生の氏名をフルネームで覚え、学生に積極的に話しかけている。さらに、顔色・表情を注意深く確認している。
- ・他人と比較し、秀でているところ、長所について指摘するだけでなく、いかに秀でているか、いかに長所が素晴らしいかを説明し学生自身が自覚できるよう繰り返し伝えている。
- ・学生自身の考え方を論理的に説明（発言）できるように学生の理解度を確認しながら授業を進めている。
- ・学生の理解度を確認するために授業中に学生の発言を求め、その理論的根拠をも述べさせ、適宜助言しながら学生の理解度を深めている。
- ・理論だけでなく、実務面に結びついた論理構成ができるようできるだけ学生とディスカッションを行い指導している。

③後悔しない人生

- ・自分の過去を後悔せず、前向きな人生を歩むために常にポジティブに物事を考えるよう常に語り続けている。
- ・授業及びゼミにおいて、私の経験談をもとに、私自身が選択してきた道について後悔していないことを伝え、学生にも自ら選択してきた道を後悔しないよう理解を促している。

【評価・成果】

- ・春期オンライン授業評価において、よかった点は複数あるが改善すべき点の指摘はない。
- ・ゼミ生の大学院進学（東北大学大学院）
- ・税理士講座受講者1人が2科目合格、日商簿記1級合格者2人。

【目標】

- ・税理士試験の科目合格者及び日商簿記1級合格者の輩出。
- ・希望大学院への進学。
- ・希望就職先への就職。